

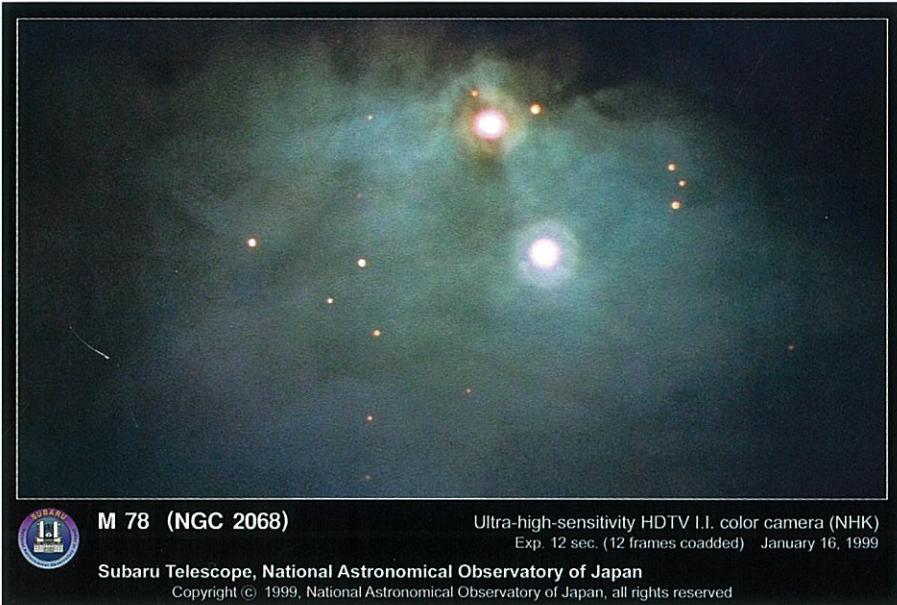
すばる

写真館

年182

07

M78(NGC2068)



M 78 (NGC 2068)

Ultra-high-sensitivity HDTV I.I. color camera (NHK)
Exp. 12 sec. (12 frames coadded) January 16, 1999Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan
Copyright © 1999, National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved

★ウルトラマンの故郷として有名な M78 星雲は、じつは我々の銀河系の中にある。これは、オリオン座のベルトの近くにある反射星雲で、二つの明るい星が周囲にある固体微粒子の雲を照らしている。距離は 1500 光年で、大きさは 4 光年、ウルトラの星はこの明るい星の惑星なのだろうか。すばるからは見えないが、南天には、銀河系のお伴をする小さな銀河、マゼラン雲がある。距離は 15 万光年で、宇宙戦艦ヤマト

に登場するイスカンダルは、ウルトラの星より 100 倍も遠い。SF の世界は、ワープ航法を生み出して、距離の問題を乗りきったが、相対性理論は、光より速く移動することを禁じている。正確に言うと、もともと光より遅いものが、光より速くなることを禁じているのである。どうやら、ウルトラマンやヤマトなどの超光速移動は、SF の世界だけのことのようである。

(光赤外研究部主任研究員 中島 紀)

M63(NGC5055)

★1779 年にメシエの友人メシャンが発見し、その日にメシエが初めて記録に残した、りょうけん座の渦巻銀河。星々がビーズのように連なる渦巻腕が多数あり、渦巻き模様は小さな中心近くまで続いている。「ひまわり銀河」の愛称で親しまれ、「美人銀河」の一人だ。距離は約 3500 万光年。子連れ銀河 M51 などと銀河群をなす。青く若い星々、赤い電離水素領域、無数のダークレーンを見事に写し出した「すばる」の高解像



M 63 (NGC 5055)

Ultra-high-sensitivity HDTV I.I. color camera (NHK)
Exp. 10 sec. (10 frames coadded) January 16, 1999

Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan

Copyright © 1999, National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved

画像はとくに絶賛されており、筆者のパソコンのスクリーンセーバー画面の一つともなっている。M63 は整った顔のおっとりした美人で、子連れで目立つ M51 に比べて、その研究論文は意外に多くない。最初にこの銀河にアプローチしたファン・マーネンの回転運動の論文（1923 年）が後にスキャンドルとなつたことなどが不幸の遠因かもしれない。近年、ファブリペロー撮像や野辺山の分子観測などで、この美人に再びスポットライトがあたり始めているが、もっと注目を浴びてよい銀河だ。

(光赤外研究部教授 家 正則)